

五常

編集発行
コミュニティ協議会
広報委員会

人口
8,074人
世帯数
3,407世帯
令和8年3月現在

覚えておこう もしもの心得

第23回 防災フェスティバル

2月15日(日)の午前中、五常小学校の校庭で防災フェスティバルが開催されました。23の自治(理事)会から197名の参加があり、消防署をはじめサポートいただいた方まで含めると総勢250名と、かなりの規模になりました。



ギャラリーの注視を浴びつつ、放水!

今回も枚方市消防団・川越分団による放水デモンストラーションのあと5班に分かれ、5つの訓練ブース(A)地震体験 (B)応急搬送 (C)人命救助 (D)煙道体験 (E)初期消火を順に巡りました。



ぐっところえるシニア世代

一番にぎやかだったのが地震体験。「きやー」、「やめてーっ」と黄色い悲鳴が他ブースまで届き、思わず何事かと振り返るほど。



もうこりこりかと思いきや、子どもたちは何度もチャレンジをくり返すのでした。



もうもう 濛々たる煙の中へ

煙道体験では、煙に巻かれ視界が悪い中を避難します。

煙の発生装置には調子の良し悪しがあるそうで、この日はまれに見る絶好調。数センチ前方にあるはずの先行者の背中すら、白い煙にさえぎられて見えません。

「こちでくす。」という出口からの誘導がなければ、危うく迷子になるところでした。実際の火災現場では、救いの声を期待することとはできません。決して焦らず、低い体勢をとって壁伝いに出口を探すことが大切です。



ボクにもできた!

なお最近、リチウムイオン電池の発火事故が増えているそうです。スマホや電動自転車、携帯扇風機等に使用する充電式の電池です。強い衝撃や圧力、熱に弱い性質があるため、落としたり、ストロブのそばなど高温環境に長時間放置することは避けましょう。

もしも、**○熱い** **○異臭**がする **○膨張・変形**している そんな時はすぐに使用を中止してください。

万が一発火した際は、大量の水をかける、水没させる等が有効です。



枚方市では、リチウムイオン電池が原因で、ごみ収集車の火災も発生しています。不要になった場合は必ず、**①JBRCリサイクル協力店**(ホームセンター、電気店等)または、**②穂谷川清掃工場**、**③東部清掃工場**へ。②、③では、変形・破損した物も引取可能。詳細は枚方市のホームページで。なお今回の訓練の様子は、枚方市消防団公式ホームページでも紹介されています。当コミュニティのホームページ・新着情報(2月18日付)よりご覧ください。

焼きいもホクホク



小学校が休日の土曜日の午前中、子どもたちの“生きる力”を育むことを目的に実施されているのが「子どもいきいき広場」。

野球やグラウンド・ゴルフなどのアウトドア・スポーツから、お話の会や折り紙、工作まで、メニューはさまざまです。



つもった落ち葉を一掃

2月14日は、「落ち葉ひろい＆焼きいも」。約40人の児童に加え保護者の方々が、校舎のまわりの落ち葉拾いに精を出しました。どんぐりや栗の実も、ずいぶん収穫できたようですよ。



しばし汗を流した後は、ご褒美の焼きいもが待っています。炭火でじっくり焼き上げた鳴門金時は、ほかほかでジューシー。ひと口かじれば「アチチチー!」「あまーい!」と、歓声が上がります。



金串がスツと通れば
できあがり

4月の予定は今のところ、野球にカーリンコン、プラン。新年度のいきいき広場も、どうぞお楽しみに。



外で食べるおやつは、
また格別

EXPO 五常EXPO

2月3日(火)の午前中、五常小学校にて、五常EXPOが開催されました。

この催しは、北大阪商工会議所に所属する地元のものづくり企業を中心とした「不器用ファクトリー」協力のもと、「たのしいをつくらう」を旗印に四年生児童たちが企画・運営するイベントです。

五常小の在校生はもとより、山之上小の児童たち、保護者や地域の方々もたくさん来場され、にぎやかな笑い声と活気があふればかり。



いっぱい貯まる?
貯金箱づくり

会場となった体育館と校庭には「風鈴づくり」、「貯金箱づくり」など12のブースが設けられ、子どもたちが受付業務を担当。ステージ上ではスクリーンに映写され

るスライドをバックに、制作過程の裏話や協力企業さんの紹介を発表しました。

体育館中央には、このイベントのシンボリック存在のミニハウスが建てられ、最後は照明を落としてライトアップ。



簡素な家が、神秘的な建造物に

最近の教育現場では、子どもたちの自主性・創造力を伸ばすことが重視されているようです。成長して社会に出ても、それはとても大切なこと。

身内や先生以外の大人の人たちと密にコミュニケーションを取った今回の経験は、間違いなく今後生きるでしょう。

自転車・青キップ



4月1日より改正道路交通法が施行され、16歳以上の自転車運転者に対し、交通反則通告(青切符)制度が導入されます。

自動車の軽微な交通違反(駐車違反、速度超過等)について長らく適用されているのと同様、一定の期間内に反則金を支払うことで、取り調べや裁判などの煩わしい刑事手続を通さずに終結できる制度です。

《違反行為と反則金の例》

違反行為	反則金(円)
携帯電話使用(保持)	12,000
信号無視	6,000
車道右側通行	6,000
一時不停止	5,000
無灯火	5,000
ブレーキ不備等	5,000
イヤホン使用	5,000
二人乗り	3,000

ただし、自転車での酒酔い・酒気帯び運転や、ながらスマホで歩行者とぶつか(りそうにな)った場合などは、従来どおり即座に赤切符が切られ刑事手続が必要です。有罪になれば、刑事罰の対象ですし、当然前科もつきます。

青切符制度が導入された背景には、すべての交通事故に占める自転車関連事故の割合が増加傾向にあることが挙げられます。

自転車は車両の一種でありながら、運転者にはその意識が薄く交通ルールも十分に守られているとは言えません。

違反行為と反則金の明確化により、交通ルールの浸透、違反・事故に対する抑止力が期待されます。

今回対象外の

16歳未満も、守るべき交通ルールに変わりはありません。学校やご家庭内でも、折りにつけご指導いただければと思います。

また、同じタイミングで自転車を追い越す際の規定も新たに追加されます。十分な間隔(1.0〜1.5m)が確保できない場合、車は徐行すべしというものです。

その際、自転車もできるだけ左に寄って、車の通行を妨げないことが求められます。おたが譲り合って、気持ち良く運転したいものです。



風にお手上げ



1月11日(日)に予定されていたとんど祭り。今年で36回目を迎えるはずだったのですが、未明から台風を思わせる強風が吹き荒れるあいにくの天候。

舞い上がった火の粉が風に運ばれ、火災につながるおそれもあるため、やむなく中止を決定しました。風による中止は、長い歴史の中で初めてのことだそうです。



前日の竹切り風景

前日には、檜の骨組みとなる竹の切り出し、振る舞いの豚汁の仕込みと、準備万端ととのっていただけに残念です。

ただ豚汁については、五常小学校の渡り廊下に座席を設け、来場された方に召し上がっていただけなのが救いです。用意した500食はきれいになくなりました。

今回スタッフの中から、豚汁に薬味を添えてはどうか、という意見が出たため、定番の七味も用意しました。お味の程はいかがでしょうか？



熱々の豚汁でひと息

イベントの際には常に行列の絶えない、人気のバルーンアートは、体育館入口前のスペースで、子どもたちのオーダーに応じていただきました。



神の手さばき

ご協力いただいたボランティア、実行委員の皆さまには、深く感謝申し上げます。

ホタル来校



2月27日、薄曇りの金曜日、五常小構内にある生態系観察施設「バイオトープ(愛称「じよトープ」)に、ゲンジボタルの幼虫が放流されました。活躍してくれたのは飼育委員会の児童たちです。

長年「じよトープ」の維持・管理に力を尽くし、先般枚方市のボランティア表彰も受けられた「五常小をホタルの郷に」実行委員会の方から説明を受けると、ホタルの幼虫と、そのエサになるカワニナ(巻貝)を川の中へ。



じゃあまた、元気でね

幼虫たちは、しばし水中生活を送ったあと岸に上がり、やわらかい土にもぐって蛹(さなぎ)になります。羽化が始まる5月下旬頃には今年もまた、ほのかで幻想的な光の舞を見せてくれるでしょう。

平和を祈って



3月1日(日)の午後、ニッペパーク岡東中央では、会場を埋めつくしたキャンドルに灯をともし「平和の燈火」が実施されました。禁野火薬庫の大爆発、米国の水爆実験による第五福竜丸の被曝(ばくばつ)が、いずれも3月1日だったことから、枚方市ではこの日を「枚方市平和の日」に制定し、様々な啓発活動を行っているのです。



宵間にまたたく
3,000本のキャンドル

今年初めて登場したのが、広島市の原爆被災のVR体験。平和な町並みが一瞬にして瓦礫(がれき)の山と化し、炎に包まれるさまが、その場に居合わせたように身に迫ります。おそらく今後機会が設けられるはずですので、ぜひ体験いただければと思います。

五常小・応援ソング



36年後の五常小創立100周年まで歌い継がれる歌を作ろうと五常生を中心に進められた「100年応援ソングプロジェクト」。クラウドファンディングに協力された方も多いかと思えます。



クラウドファンディング
返礼品のタオル

枚方にゆかりの深いロックバンド「アンダーグラフ」の手で、在校生たちの思いを汲んだ楽曲が完成し、昨年10月には彼らのライブでお披露目もされました。ついでには校区の皆さまにも広く知っていただくため、動画を制作中です。完成しましたらいずれ当コミュニティのホームページでご紹介いたします。

第17回「煙突山さくらまつり」

2026年4月4日(土) 11:00~15:00

会場：煙突山(妙見山配水池)

共催：枚方市・人権政策課

※場内での、喫煙・飲食はできません

※水道施設のため、ペットの同伴はできません

※ご休憩は、五常会館[隣接]へ

(ゴミは必ずお持ち帰りください)

※駐車場はありません

編集後記

ミラノ・コルティナ冬季五輪のフィギュアスケートで金メダルに輝いたりくりゆうペア。ネットニュースやYouTubeは、いまやこの二人の話題で持ち切り。WBC出場のために帰国した大谷翔平選手ですら、やや影が薄い印象です。(広報委員会)